第2回肝炎対策推進協議会
2010年8月2日

医療従事者と患者の相互連携による治療推進の取り組みについて

慶應義塾大学看護医療学部
加藤眞三

肝臓病教室による情報提供の試み

- 1992年都立広尾病院にて開始した。
- きっかけは、自分自身のストレス。
- インターフェロンの治療が開始された時期。

初期の問題意識

- 3分間診療では十分な説明ができない。
- 患者の間には同じような質問や疑問が多い。
- 情報化社会の中にあって、病気に関する情報は増えているが、質に問題がある。

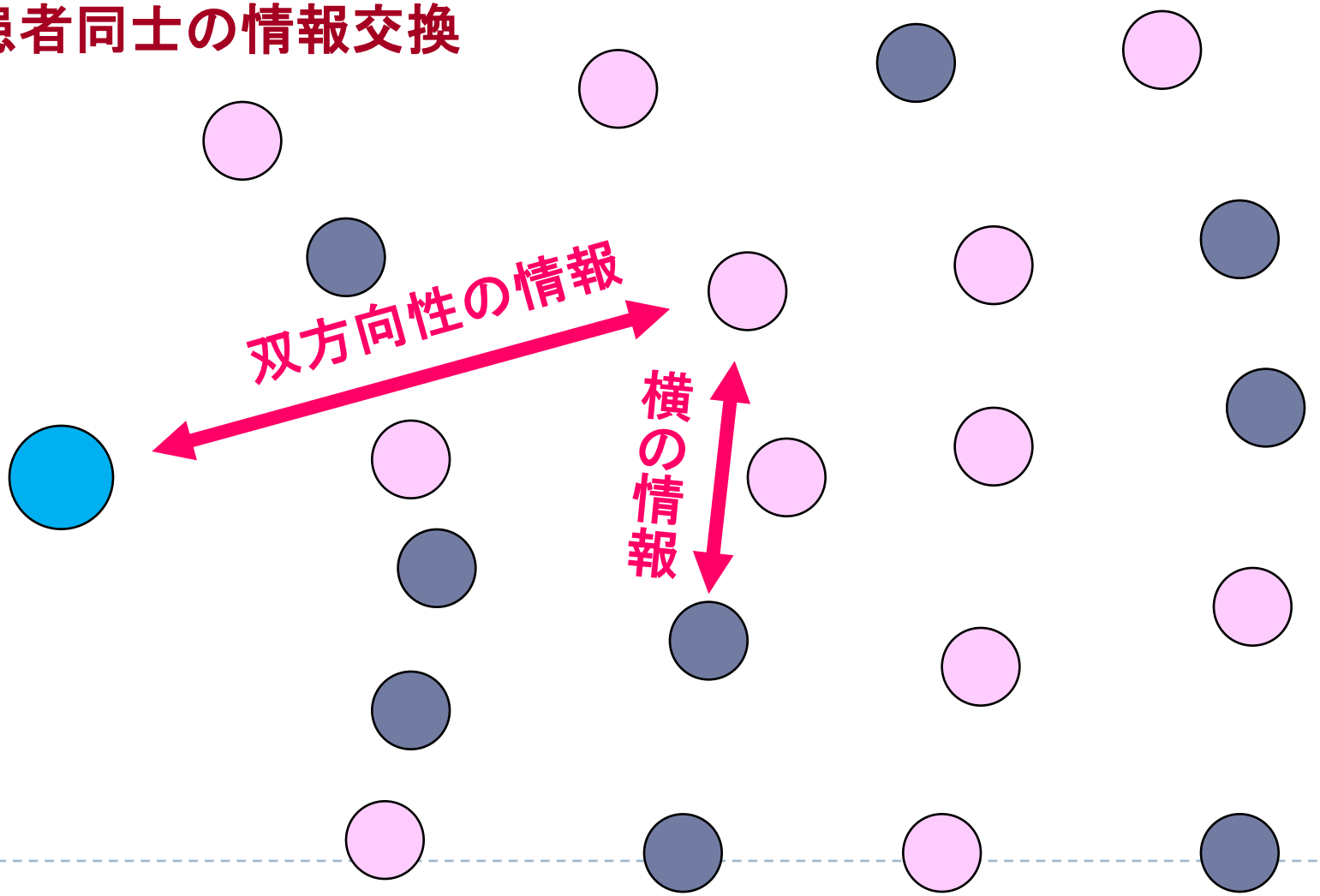
肝臓病教室による情報提供

- 約2時間を１回とし、4回を1コースとする。
- 月に１度開催する。
  1. 肝臓病と日常生活の注意
  2. 慢性肝炎とは;インターフェロンと抗ウイルス療法
  3. 肝硬変について;合併症とその治療
  4. 肝臓病の検査では何をみているのか。

- 必要と思われる医療知識の提供
（病気について、感染対策、検査や治療法の説明）

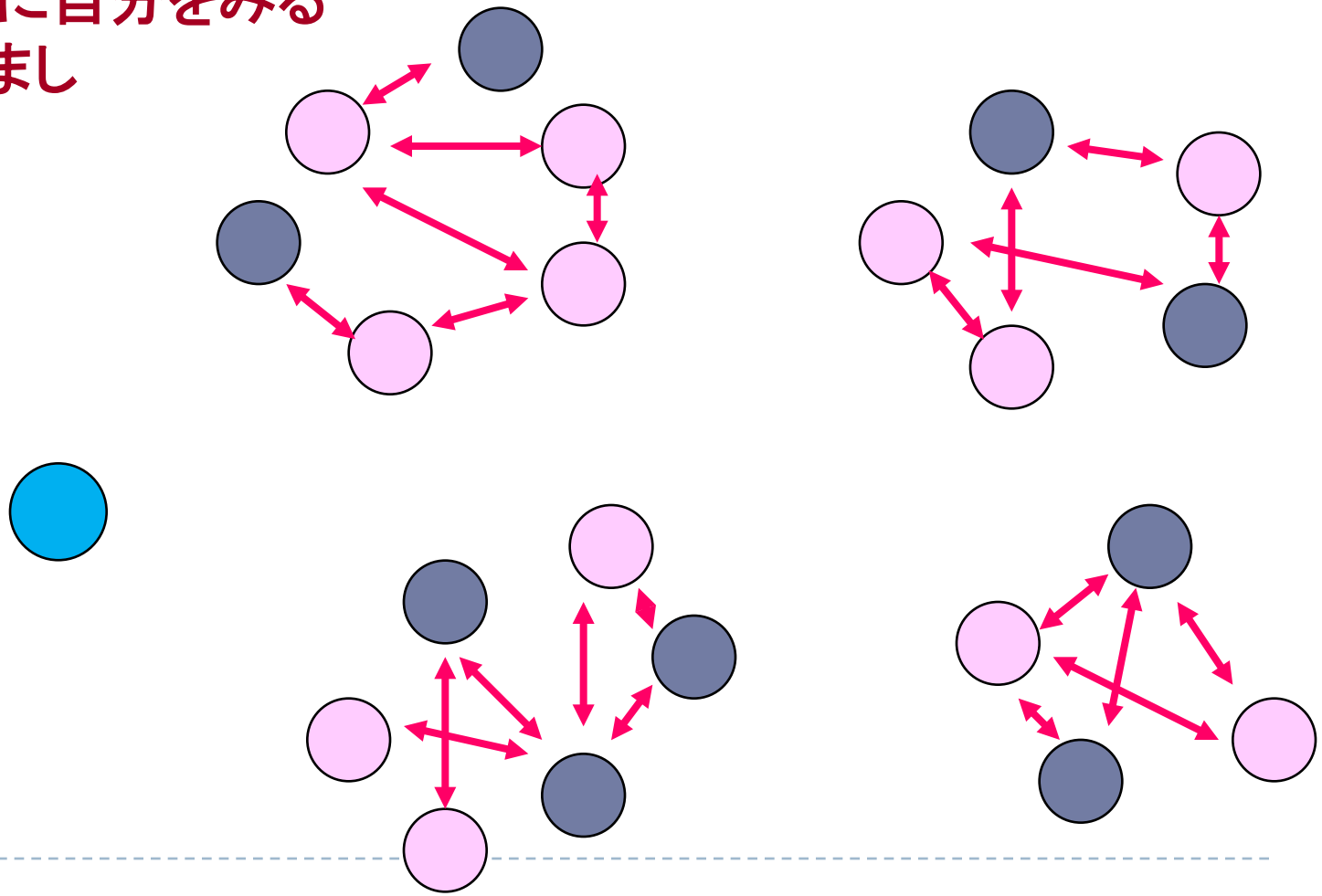
質疑応答の重視

- 患者の知りたいことを中心に
- 患者同士の情報交換



グループワーク方式

- 患者同士の情報の交換
- 他人の中に自分をみる
- 共感と励まし



グループワーク方式

- 目的： 医師からの一方的な情報提供だけでなく、患者同士の情報提供を生かす。
- 背景； 患者への情報には、医師からのものよりも患者同士の方が有益なものもある。
  - 肝生検、TAE，PEIT，RFなどの体験談
  - こむら返り、だるい時、疲れた時、落ち込んだ時にどう対処しているかなど
- 結果； 患者は、自分の病気の将来像を他の患者の中に見ることができる。
  - 肝硬変や肝臓癌の他の患者に将来の生活を知る。
  - 慰めあい。励ましあい。共感がうまれる。
- 必要時には医療者からアドバイスをくわえる。

グループワークでのルール

- 何を； 肝臓病により不安に思っていること、困っていることなどを相談してください。
- 誰から；新しく参加した人や最も相談をしたい人を優先してください。
- 時間； 一人の話は約３－５分間を目安としてください。
- プライバシーの尊重； 最初に自己紹介を短くして下さい。本名でなくても、仮名やニックネームでも結構です。
- 意見交換； 自分の意見を参考までにのべて．他人に押し付けないように。
- 医療者の補助； 医療者からの意見を聞きたい時には、手を挙げて呼んでください。

あるC型慢性肝炎患者からの手紙

数年前、区の「お誕生日検診」によりC型肝炎であることが判明しました。

その時は、「輸血もしたこともなければ、お酒、タバコの経験もないのに何で私が！」と一瞬血が引く思いがしました。やがて、徐々に悔しくて残念な思いが募ってきました。自覚症状もありませんでした。

しかし、こんなことをくよくよといつまでも悩んでいても前進がない。前向きに考えねばと近くの病院を訪ね治療を受けました。

（中略）

そんな時、加藤先生から「肝臓病教室にいらっしゃい」と声をかけていただきました。どんなものかと恐る恐る参加させていただきました。

「肝臓病と日常生活」というテーマでした。スライドをつかった加藤先生のわかりやすい説明で、あっという間の2時間でした。その帰り何となく肩の荷がすっと降りたような思いをしました。

肝臓病教室の参加を重ねるごとに、だんだん「私はC型肝炎であるが、そんなに悪い状態ではないのだ」という思いが強くなってきました。約30分のグループワークで、色々のかたのお話を聞くにつけ、特にその思いが確信に近づいてきました。

（中略）

一時減った体重も今は元に戻り、ストレスをためないように楽しく暮らしています。

「患者の生き方」 春秋社より

肝臓病患者の持つ不安の原因と対処

- 自分が良く知らないことに起因。情報の不足
- **インテレクチュアルペイン**
  - 病気の進行は。
  - 新しい治療法。
  - 新しい検査。侵襲のある検査。
  - 感染症としての不安。
  - がんとはどんなに悲惨か？
  - どんな日常生活ができるのか？　安静を強いられる。

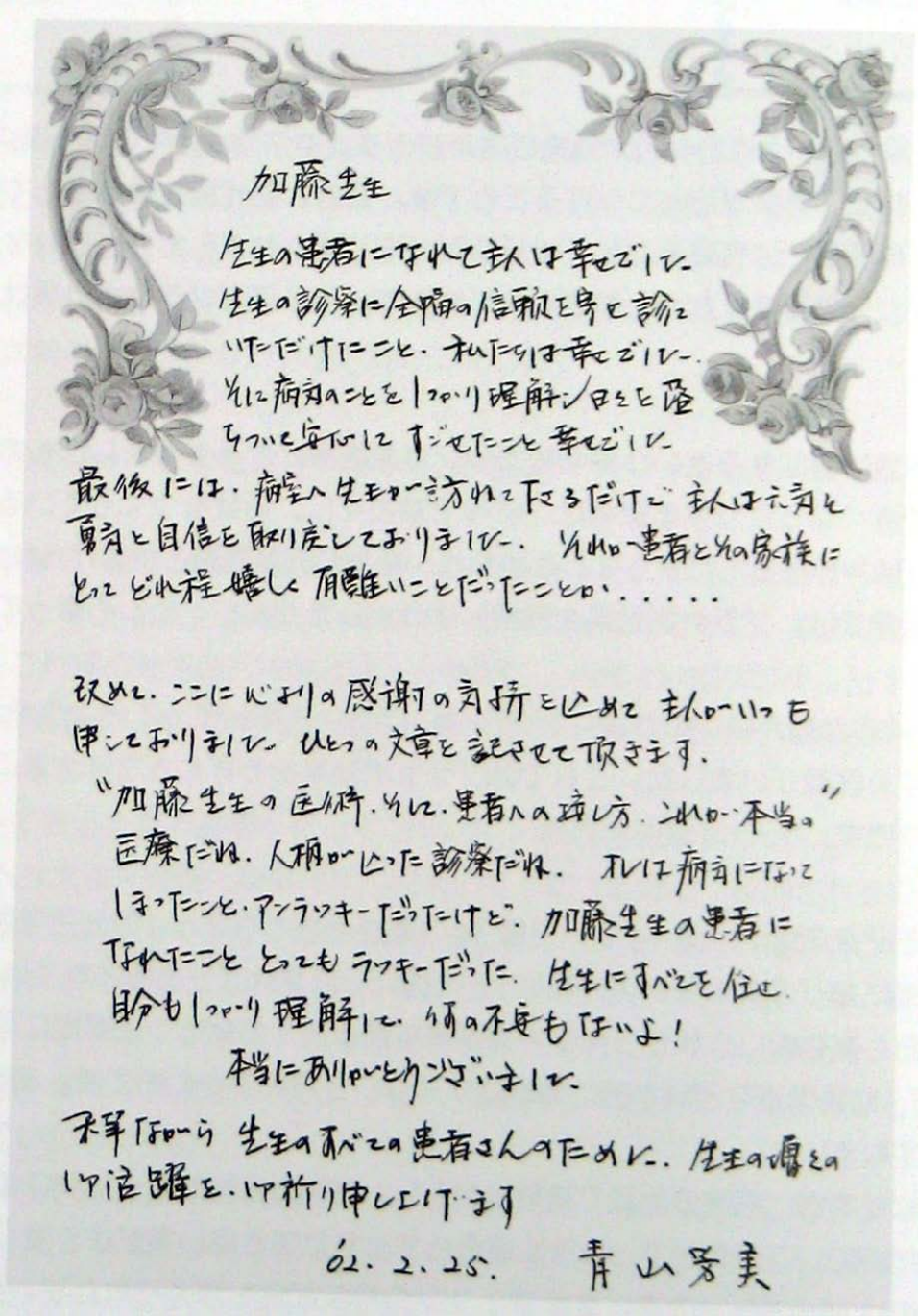
- 情報の提供

- 病気を抱えて生じる回答のない生の根源的な悩み
- **スピリチュアルペイン**
  - どうして私が。
  - がんになったらどうしよう
  - 死後にはどうなる
  - 自分が生きている意味は
  - 他人に迷惑をかけたくない
  - 私が死んでしまったら家族は？

- 傾聴
- グループワーク

終末期肝がん患者とスピリチュアルケア

<u>その病気のことをしっかり理解し</u>、日々を落ち着いて安心してすごせたこと幸せでした。
最後には、病室へ先生が訪れて下さるだけで、<u>主人は元気と勇気と自信を取り戻しておりました</u>。
それが患者とその家族にとってどれ程嬉しく有難いことだったか・・・・



加藤先生

先生の患者になれて主人は幸せでした
先生の診察に全幅の信頼を寄せ診て
いただけたこと、私たちは幸せでした。
それに病気のことをしっかり理解し日々を落
ち着いて安心してすごせたこと幸せでした

最後には、病室へ先生が訪れて下さるだけで主人は元気と
勇気と自信を取り戻しておりました。それが患者とその家族に
とってどれ程嬉しく有難いことだったかとか・・・・・

改めて、ここに心よりの感謝の気持を込めて主人がいつも
申しておりました。ひとつの文章を記させて頂きます。
"加藤先生の医術、そして、患者への接し方、これが本当の
医療だね。人柄が出た診察だね。オレは病気になって
しまったんと、アンラッキーだったけど、加藤先生の患者に
なれたこと とってもラッキーだった。先生にすべてを任せ
時もしっかり理解して、何の不安もないよ!
本当にありがとうございました

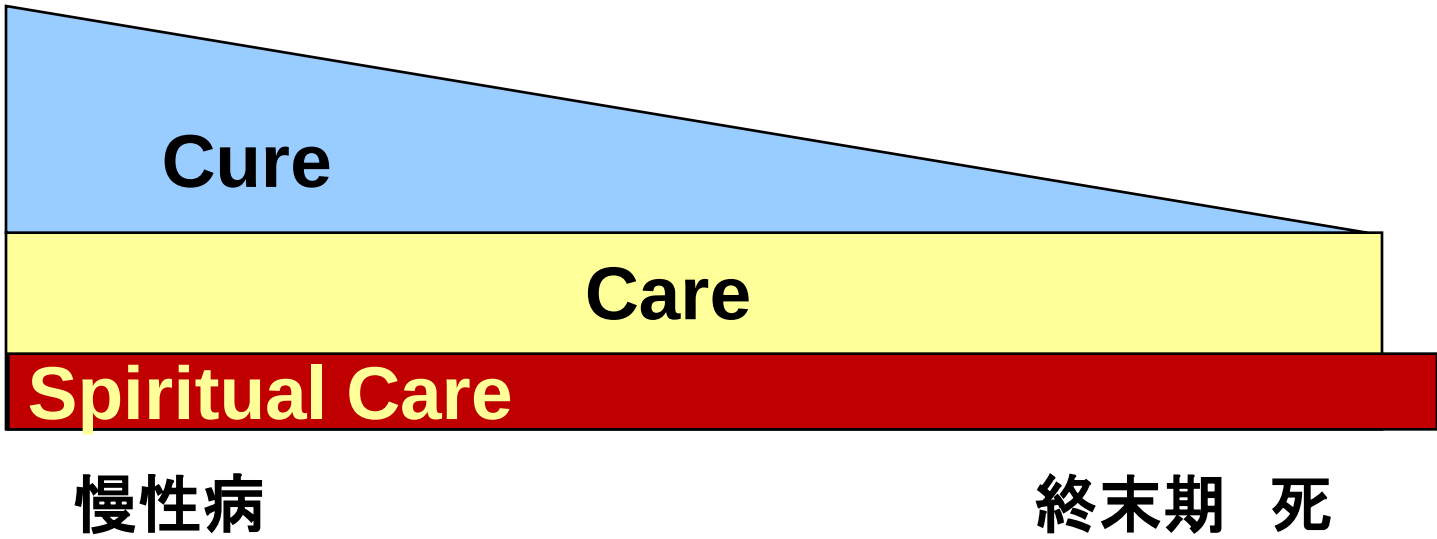
不躾ながら 先生のすべての患者さんのために、先生の御ご
ご活躍を、お祈り申し上げます

02. 2. 25.　青山芳美

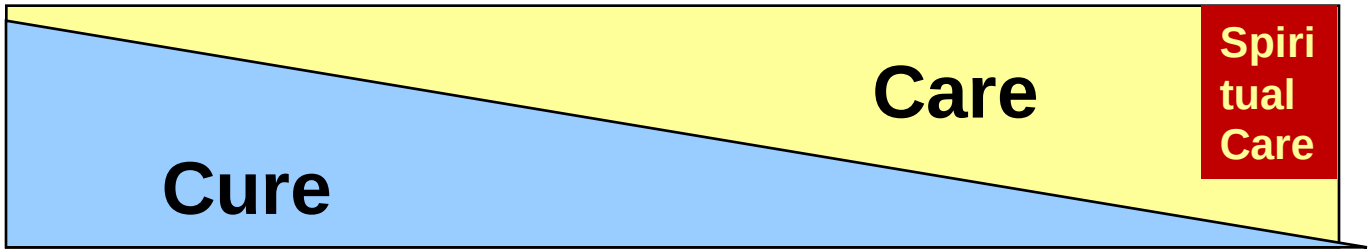
肝臓病教室のすすめ
（メディカルレビュー社）より

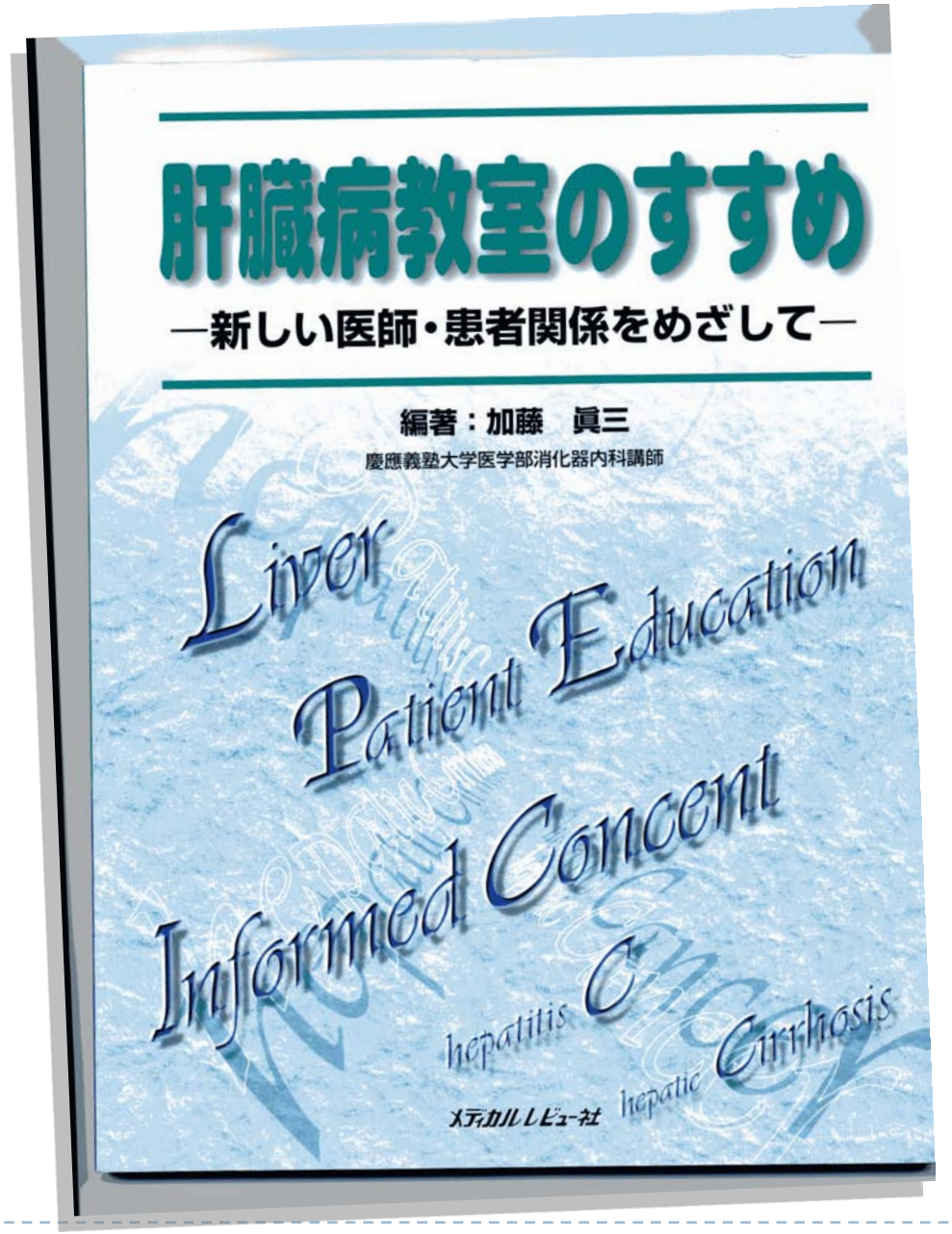
CureとCareの関係の見直しを

これからの医療



現代医学





肝臓病教室のすすめ
ー新しい医師・患者関係をめざしてー
加藤眞三
メディカルビュー社　2002年

患者教育用スライドのCD—ROM付

医療ルネサンス

通算…

C型肝炎 克服に向けて ■2■

肝臓病教室で情報提供

…の小さなグループに分かれて、自由な話し合いの時間が始まったのだ。

東京・信濃町の慶応大病院での「肝臓病教室」。五十人以上の参加者で埋め尽くされている。

若い女性のC型肝炎患者が口火を切った。

「自分は精神的に弱く、近々予定しているインターフェロン治療が不安です」

C型肝炎を完治させる可能性のある薬剤のインターフェロンは、発熱やけん怠感、うつ症状などの副作用を伴うことがある。うつ病患者らは、治療を避ける場合が多い。

「私も心配でした。でも先生がきちんと気遣ってくれたし、『案ずるより産むがやすし』だったわよ」

すでに治療歴のある別の女性患者がそう応じた。

参加者は肝臓病の患者やその家族。患者数の多いC…

肝臓病教室で参加者からの質問に答える加藤眞三さん（東京・信濃町の慶応大病院で）

…る出産時の輸血後に急性肝炎の症状が出た。回復してから自覚症状もなかったが、その後、急に疲れやすした経験もある。

「自分の病気だから、自分で勉強していきたい。教室に出ると、そんな活力が…

教室の主催者である消化器内科講師の加藤眞三さんは「多くの患者さんを診る外来では、十分な説明をする時間が取れないから」と休診日を使った肝臓病教室開催の動機を説明する。

教室では、スライドを使って、肝臓病の基礎知識や最新の治療方法の解説、食…討論まで二時間のプログラム。参加費は無料だ。

「治療法や発がんへの不安に答えたいし、新薬の情報も伝える必要がある。治療方法の選択に患者さんも参加して、しっかり理解しておいてほしい」

加藤さんが教室を開いて十年。患者の反応に大きな手ごたえを感じている。

同じ慢性疾患の糖尿病教室は多いが、糖尿病ほど日常生活が制限されないため、肝臓病教室は少ない。

インターフェロンで、体内から全ウイルスを無くす確率は30～40％程度。ウイルスが駆除できなかったり、副作用で中断したりした患者は、その後、肝臓の炎症を抑える注射を打ち続けるなど、厳しい闘病生活を送ることになる。

治りにくい病気だからこそ、医師は患者の思いにこたえる医療を考えていくべきだろう。

インターフェロン

C型肝炎は、体内からウイルスをすべて追い出すことが治療の最終目的。それを可能にするのがこの薬だ。抗ウイルス剤との併用など治療方法が昨年12月に認可され、40％程度まで駆除率があがった。2月、保険による6か月間の投与期間の制限も撤廃された。

ご意見、情報を 〒100-8055 読売新聞医療情報部 FAX03(3217)8985 iryou@yominet.ne

「テレビで見た心臓マッサージ 夢中で…」

…に心臓マッサージし、和…

家庭とくらし

…ブランコなどによる子供の死傷事故が多発する中、国土交通省は今月、「安全な遊具」のための初のガイドラインを作成…

■厳しいEUの基準

東京・大田区の「大森みのり幼稚園」は昨夏、園内から…前に北欧を視察し、安全性を重視した遊具を知ったこと。EU（欧州連合）では事故防止のため、一九九八年に続…

…台のボルトに絡んだ（四歳女子）、箱形ブランコの下部と地面との間に頭と体を挟まれた（十一歳女子）などだ。

自然観察に役立つ

東京電力がハンドブ…

味レシピ ●●切り干しのゴマガラシあえ（125kcal・塩分1.2g／1人）

【材料2人分】切り干しダ…

戻す。固く絞って食べやすい長さに切る❷コマツナは3㌢…

…れて混ぜ、アサリ、コマ…を加えてあえる。

BSE感染牛誕生時の代用乳

過去3頭と同銘柄？

地元で販売か

国内四頭目のBSE（牛海綿状脳症、狂牛病）感染牛が北海道で見つかった問題で、この牛が生まれた一九九六年春に地元の音別町農協が、過去三頭の感染牛に与えられていたものと同じ銘柄の代用乳を、町内の酪農家（いた）農家が使用していた疑いが出ている。

関係者の話では、同農協の九六年四月の配合飼料価格表にも、この二品目が掲載され「この時期に同じ銘柄を購入した」と話す酪農家もいる。同農協幹部は「（四頭目の）BSE感染牛を飼育していた…

地元の農協「状況厳しい」 緊急の説明会

北海道音別町の酪農家の飼育していた乳牛がBSE感染していたことを受け、地元・釧路地区の農協組合長らは十二日、緊急の説明会を非公開で開き、今後の対策などを協議した。

説明会には釧路地区九農協の組合長と音別町農協職員らが出席。釧路支庁から説明を受けた各組合長は「地域にとってかなり状況は厳しい」との認識で一致した。自民党のBSE対策本部の責任者で地元選出の北村直人衆院議員も出席し、「万全の措置を講じていきたい」と述べたという。

▼代用乳 生後七日－一カ月の子牛に、母牛の乳の代わりに与える粉ミルク状の飼料。成分は脱脂粉乳、血漿（けっしょう）たんぱく、動物性油脂など。過去三頭の感染牛に与えられた代用乳には、BSE発生国のオランダで製造された牛の油脂が使われていたことが分かっている。

路上で元組員刺殺される 巣鴨、3人組逃走

十二日午前零時五十分ごろ、東京都豊島区巣鴨二先の路上で、指定暴力団住吉会系の畔上健元組員（35）が三人組の男に両脇腹を刃物で刺された。畔上元組員は病院に運ばれたが、約一時間後に死亡。警視庁巣鴨署は殺人事件とみて逃げた男らの行方を追っている。

高検元部長の詐欺 共犯容疑の組長…

大阪地検特捜部は十二日、元大阪高検公安部長の三井環容疑者（57）＝詐欺罪などで起訴、収賄…主導的な役割を果たし、二人は従属的な立場だった」としている。…二人は三井容疑者と…

輸血や血液製剤で感染

C型肝炎 広がる不安

「薬害」把握 これから

加藤眞三医師㊥が開く肝臓病教室には大勢の患者が詰め掛ける（東京都新宿区の慶応大付属病院）

月曜リポート

感染者が二百万人以上とされるC型肝炎。輸血で感染した中高年を中心に肝臓がんを発症するケースが増えている。止血剤として使われた血液製剤では新生児や妊婦が大量に感染し、「薬害」として国や製薬会社の責任を追及する声も上がっている。国はようやく実態把握に重い腰を上げたが、「どうやって治療すればいいのか」と不安と戸惑いが広がっている。

●教室に殺到

「慢性肝炎の六五％はC型肝炎ウイルス（HCV）が原因です」。慶応大学付属病院（東京都新宿区）の一室で、講師の加藤眞三医師が説明すると、詰めかけた患者や家族ら約五十人はメモを取り、耳を傾けた。加藤医師は月に一度、こうした肝臓病教室を開催するが、いすが足りなくなるほどの人が集まる。

慢性肝炎の六十代の女性は約三十年前の出産時に受けた手術の際、輸血で感染したという。感染直後は黄疸（おうだん）で入院したが、今は自覚症状はない。ただ慢性肝炎は二十－三十年で三、四割が肝硬変になり、その七、八割は肝臓がんを発症するとされるだけに、「いつ悪化するか不安」と漏らす。

●多い“予備軍”

輸血でなく、止血剤として使われた血液製剤で感染した事例も多い。

静岡県の大学三年の男性（21）は入学直後の二〇〇〇年六月、大学の診療所に呼び出された。健康診断で肝機能に異常が見つかったためだ。精密検査でHCV感染が確認され、入学の喜びも暗転した。

…感染源と疑われたのは出産直後の腸の手術で止血剤として投与された旧ミドリ十字製の血液製剤「クリスマシン」。手術の際「輸血が必要ならば、自分の血液を使ってほしい」と控室で待っていた男性の父親は「そんな危険な薬を使う必要があったのか」と憤る。

同社の別の血液製剤「フィブリノゲン」も一九七〇－八〇年代に新生児出血症や出産時に妊婦…

肝疾患の死者 20年前の1.5倍

厚生労働省によると、肝硬変や肝臓がんで死亡する患者はここ数年、年間四万五千人ほどで、二十年前の一・五倍。七割がC型肝炎ウイルス（HCV）の感染が原因とされ、自覚症状がないまま、慢性肝炎から症状が進行するケースが多い。

戦後の混乱期に覚せい剤乱用者が注射針を回し打ちして感染が拡大、こうした感染者がたびたび売血したため、一九六〇年ごろまでは輸血を受けた人の半数以上が肝炎を発症したともいわれる。

HCVの発見は一九八八年。厚生労働省の「肝炎対策に関する有識者会議」は昨年三月、検査方法が確立する九二年以前に輸血を受けた人などは感染の可能性があるとしている。血液製剤は多くの人の血液を混ぜるため、感染のリスクはさらに高かった。

…は「少なくとも一万人以上の感染者がいる」と推計する。厚生労働省の調査では、血液製剤の投与が確認され、現在もHCVに感染している人の六割は二十代以下。「肝臓がん予備軍」が多く潜む実態が浮かび上がる。

●負担大きく

血液製剤によるHCV感染について、弁護士グループ「薬害肝炎研究会」は三月下旬、「国などは遅くとも七八年ま…

肝臓病教室の勉強会の組織化

- 1992年　都立広尾病院で肝臓病教室を開始。
- 2002年　「肝臓病教室のすすめ」を出版。
- 2002年　慶應義塾大学大学病院への見学が始まる。
- 2003年　全国版「肝疾患患者指導研究会」を開催。
  - その後3回開催。
- 2005年　大阪地区で「肝臓病教室アドバイザリーカンファレンス」が立ち上がる。
- 2006年　東京地区で「東京肝疾患患者指導研究会」の立ち上がる。
- 2008年　「和歌山肝臓病教室勉強会」

わが国における肝臓病教室の実施状況

調査時期（年/月）	2003 6	2004 12	2006 9	2008 2	2009 4
実施施設	64	80	81	127	155
計画中	25	26	22		
関心・興味あり	188	237	108		
教室見学施設	27	55	72	94	106

患者にとっての肝臓病教室の効用

- 知っておくべき知識、知らない情報が得られる。
- 知りたい情報を自分の医療者より直接得られる。

- 医療者とのコミュニケーションができる。

- グループワークにより精神的安心感が得られる。
- 病気をかかえてより積極的な生活に目が向けられる。

- 医療者と患者の協働関係の構築

医療者にとっての肝臓病教室の効用

- 集団指導により効率よく情報を提供できる。
- グループワークで患者同士の情報交換を有効に活用。
- 精神的サポートにつながる。

- 医療者のコミュニケーション教育の場。
- 医療のチームワークが出現する。
- 医療者のやるきがでる。
- 地域医療との連携の場になる。

- 患者と医療者の協働関係の構築

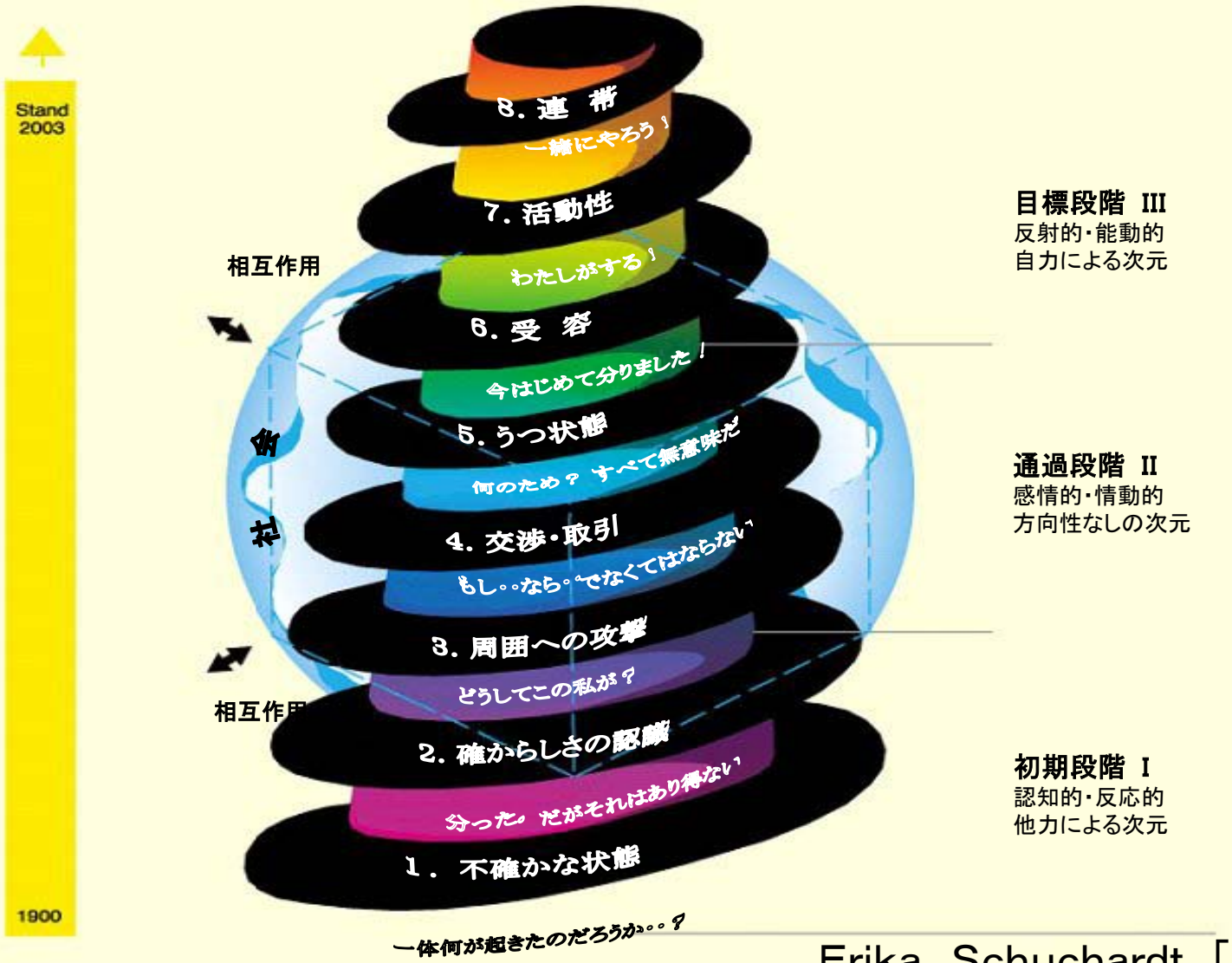
「患者と作る医学の教科書」
総医研　2009年

- 患者の視点から病気はどのようにとらえられているか。
- 患者会の皆さんに依頼し、原稿をかいてもらう。
- 医療者がその内容を点検し、構成する。
- 主観的な病態学

- 模擬授業の開催
  - 20010年2月28日（日）
  - 慶應義塾大学信濃町キャンパス孝養舎
  - 医学生、看護学生、薬学生などを対象。

螺旋ー魂の旅路のシンボル

社会との相互作用としての危機の処理



Erika Schuchardt 「Why me？」

© Erika Schuchardt